

音楽に必要な「よい耳」とは何か

「絶対音感神話」社会の克服のために求められる、 コダライの音楽教育の役割

日本コダライ協会が提供する「音感」関連講義！

学問的に最強の「移動ドの理由」今ここに

講座概要

今回のテーマは絶対音感と相対音感。

日本では絶対音感もてはやされる風潮がありますが、音楽において単音の音高を特定することは本来二の次であるはずですが、こうした「絶対音感信奉」的な考え方により、音楽学習者たちが実際に受ける教育も影響を被っています。コダライ・アプローチのように相対音感の価値を理解し、合理的な方法論に基づいて相対音感を育てる教育には、今こそ大きな社会的役割が期待されていると言えるでしょう。絶対音感の認知心理学的研究の第一人者である宮崎謙一氏をお迎えし、

- ・音楽を聴く人間の視点(認知心理学の視点)から絶対音感と相対音感(音楽の認知)を考える。
- ・音楽は相対音高からできている。したがって相対音感は音楽において、なくてはならない能力である。

- ・絶対音感とは関係がない。

- ・日本では絶対音感を持つ音楽学生の割合が諸外国に比べて際立って高い。

- ・日本では絶対音感を価値あるものとする見方が広まっていて、それが音楽教育を歪めている。

などのトピックについてご講演いただきます。イメージで語られがちな事柄について、科学的視点に基づいて共に考え、音楽指導者に必要なことを共有していきましょう。

講師 宮崎謙一

1950年、新潟県生まれ。東北大学文学部卒業、同大学院文学研究科博士前期課程修了、同後期課程単位修得。

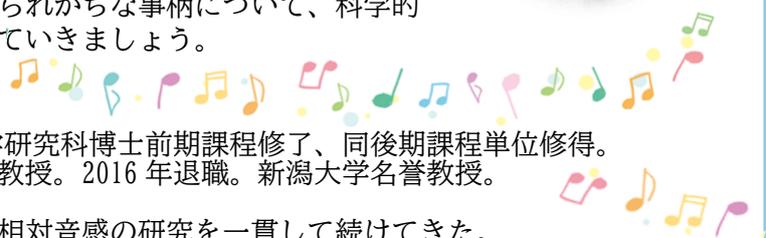
山形女子短期大学講師、新潟大学教養部助教授、同人文学部教授。2016年退職。新潟大学名誉教授。

知覚・聴覚心理学や認知心理学の研究・教育に従事。

主な研究テーマは、聴覚世界と音楽の認知、特に絶対音感と相対音感の研究を一貫して続けてきた。

主要著書：「絶対音感神話」(化学同人、2014)、「絶対音感を科学する」(共著。全音楽譜出版、2021)。

Bachとオペラとワインと旅をこよなく愛する。



お申し込み方法



①左記のQRコードのグーグルフォームに必要事項を記入して送信してください。

②自動返信メールが届きますので、受講料を振り込んでください。

楽天銀行 ポップ支店 (243) 普通口座 3909219 稲木真司

*振込者名は申込フォームと同じ名前にしてください。

*お申し込み後、1週間以内にご入金ください。

受講料：一般：2,000円 日本コダライ協会会員：1,500円

学生：1,000円

③入金確認後、受付完了メールが届きます。

*メールアドレス yoimimi.kodaly@gmail.com へのお申し込みも可能です。

申込締切 2025年10月15日(水)

2025年 10月18日(土)

19:00~20:30

(最大延長20:45まで)

Zoom オンライン、事後配信付き